平成２２年度　事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調書

整理番号
社会　26

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	03	01	01
細事業名	図書館管理運営事業					

担当部局
教育委員会事務局
担当課等
社会教育課

■ 事務事業評価

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	④　社会教育・スポーツの充実
	施策方針	2　図書館ネットワークの確立
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	・市民の求める、読書や情報収集の支援と、知的要求に応える生涯学習都市の実現のため各種事業を実施するなど役に立つ図書館サービスの充実を図る。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	図書システム更新によって、さらに利便性を図る。 資料費の充実による市内図書館全体の利用の増大。 貸出点数430,0000点（内、個人貸出350,000点。学校再配置により団体貸出は減少が見込まれる

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	・利用者ニーズ、話題性、資料的価値観等を考慮した図書館資料を購入し、円滑に利用者に提供。 ・レファレンスサービス（調べ物の資料提供）など役に立つ図書館サービスの充実を図った。 ・学校等関係機関と連携し子どもの読書活動を推進するため、団体貸出の実施及び読み聞かせ等の支援活動を行った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	市内間の貸出のネットワークが確立したため、予約・取寄せ件数が増えた。 各館とも各種事業を拡充した。 平成21年度貸出点数　421,337点（内、個人貸出337,630点）平成20年度　397,470点（内、個人貸出321,956点）

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか		
	○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由：図書システムの統合に伴って図書の配送システムが確立したことにより、市内の資料の循環が円滑に図られ、予約・取寄せの件数及び個人の貸出点数が増加した。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由：図書システムの統合により、資料費の有効活用を図ったが、年間8万点の本が出版され、1冊の単価も上がっている中、市民の読書要求は多様化しており、新鮮な本を置くために図書費の増額が課題。

ACTION

改善	事業内容の方向性		
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由：市立図書館が一体となって市民により良いサービスを提供していく。
	事業規模の方向性		
	A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由：市民のニーズを的確に捉え、新着資料と所蔵している豊富な資料を活用したコーナー作りや図書館だより、ホームページによる情報発信等により、新たな利用者増に努め、レファレンスの充実等、役に立つ図書館を目指す。

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳 項目	名称	金額（千円）
	1	80	国庫支出金		
	4	2,839	府支出金		
	7	26,006	起債		
	8・9	74	分担金・負担金		
	11・12	4,803	その他		
	13	1,632			
	14	730			
	18・19	12,509	一般財源		48,673
事業費合計		48,673	合計		48,673

●平成22年度予算

総合計画（後期基本計画）の施策方針		
平成22年度事業の概要	（何を対象に、何をするか）	
平成22年度事業の効果目標	（平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳 項目	名称	金額（千円）
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成２２年度　事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調書

整理番号
社会　5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	06	01
細事業名	障害者教育事業					

担当部局
教育委員会事務局
担当課等
社会教育課

■ 事務事業評価

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	④　社会教育・スポーツの充実
	施策方針	3　生涯学習推進体制の整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	体験学習や研修活動を通して交流を深め障害者の学習活動や社会参加を促進する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	様々な体験活動の実施と放課後や休日における子どもの居場所づくり

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	視覚障害者及び聴覚障害者を対象とした体験実習と環境学習・応急手当講習などの研修会を実施した。また、京都府が実施する同研修会へ参加するための支援と網野青年学級の運営支援（132千円）を行った。 ○視覚障害者研修会　42名参加 ○聴覚障害者研修会　26名参加
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	障害者の社会参加と交流の促進

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
	▲	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	必要最小限の予算で事業を実施している。

ACTION

改善	事業内容の方向性			
	B	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	障害者の数少ない学習・交流の場であり広く参加が得られるような工夫をしながら継続して実施する必要があるが、網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。
	事業規模の方向性			
	A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	障害者の貴重な学習と交流の場であり、対象者からも開催の要望が強い事業である。また、視覚・聴覚障害者は、高齢者が多く今後ますます必要性が高まる事業である。

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	8	52		国庫支出金		
	9	2		府支出金		
	11	16		起債		
	13	37		分担金・負担金		
	19	132		その他		
				一般財源		239
事業費合計		239		合計		239

●平成22年度予算

総合計画（後期基本計画）の施策方針		
平成22年度事業の概要	（何を対象に、何をするか）	
平成22年度事業の効果目標	（平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
				国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		
事業費合計				合計		

平成２２年度　事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調書

整理番号
社会　6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	07	01
細事業名	成人教育事業					

担当部局
教育委員会事務局
担当課等
社会教育課

■ 事務事業評価

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	④　社会教育・スポーツの充実
	施策方針	3　生涯学習推進体制の整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	市民のニーズにあった趣味や教養などの学習機会を提供することにより、市民が生涯を通して、いつでも自由に学び楽しむことができる生涯学習社会の実現を目指す。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	事業参加者の増加及びサークル化

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市民を対象とした各種の趣味教養講座（IT講習会、デッサン、絵手紙、デジカメ、囲碁、詩吟、剪定、料理講習など）や、健康体力づくり、学習講座など市民のニーズに即した各種事業を実施した。8事業（65回）；延べ616名が参加
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	市民の各種講座への参加者の増加及び生涯学習活動の充実

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか		
	○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由：地域公民館の連携や広域的な事業の展開が定着しつつある。また、サークルの育成を図ることができた。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由：学習者にも一定の費用負担をしていただいている。

ACTION

改善	事業内容の方向性		
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由：市民のニーズや地域課題を的確に把握し、講座の内容の充実を図り、市民団体・サークル活動の育成を図る。
	事業規模の方向性		
	B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由：学習者へも一定の負担をいただきながら各種の生涯学習機会を提供し、地域人材を活用した講座の充実を図る。

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	8	141		国庫支出金		
	11	51		府支出金		
	12	8		起債		
	13	208		分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		408
事業費合計		408	合計			408

●平成22年度予算

総合計画（後期基本計画）の施策方針		
平成22年度事業の概要	（何を対象に、何をするか）	
平成22年度事業の効果目標	（平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
				国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		
事業費合計			合計			

平成２２年度　事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調書

整理番号
社会　7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	08	01
細事業名	女性教育事業					

担当部局
教育委員会事務局
担当課等
社会教育課

■ 事務事業評価

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	④　社会教育・スポーツの充実
	施策方針	3　生涯学習推進体制の整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	女性団体の活動を支援するとともに、女性の身近な場での学習機会を提供することによって、女性の社会参加と組織化を促進する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	事業参加者の増加と組織化の促進

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	京丹後市連合婦人会（361千円）及び網野生活学校（49千円）への活動支援及び、地区公民館を単位とした女性講座を開設し、地域での交流活動を通して、連帯意識を高める取り組みを進めた。3事業（11回）；延べ121名が参加
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	連合婦人会組織を中心とした自発的な活動と女性組織の発展が見られた

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	8	54		国庫支出金		
	11	22		府支出金		
	19	410		起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		486
事業費合計		486	合計			486

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
	▲	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	婦人会組織の構成に地域格差が生じている。地域での女性組織の育成が課題となっている。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	団体への活動補助金を段階的に削減してきたが、現状の組織体制を維持し、事業を実施するためには現行の予算が必要と思われる。

ACTION

改善	事業内容の方向性			
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	女性組織の育成と地域での学習活動の活性化を図るため引き続き事業を実施する必要がある。
	事業規模の方向性			
	B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	地域での学習機会を通した女性の交流の場の充実が必要である。

●平成22年度予算

総合計画（後期基本計画）の施策方針		
平成22年度事業の概要	（何を対象に、何をするか）	
平成22年度事業の効果目標	（平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
				国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		
事業費合計			合計			

平成２２年度　事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調書

整理番号
社会　8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	09	01
細事業名	高齢者教育事業					

担当部局
教育委員会事務局
担当課等
社会教育課

■ 事務事業評価

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	④　社会教育・スポーツの充実
	施策方針	3　生涯学習推進体制の整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	高齢者に生涯学習の機会を提供し、高齢者の生きがいを高めるとともに学習の成果を地域へ還元することによって、地域コミュニティの再生及び活性化を図る。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	研修会参加者の増加と指導者の養成及び活用

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	高齢者の社会参加と人材の養成及び活用を図るため「生涯学習ボランティア養成講座」を実施した。1事業（4回）；延べ80名
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	学習機会の充実と指導者としての人材育成及び活用

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか		
	▲	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由：継続的な事業の実施及び体制整備、関係機関の連携が必要である。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由：講座内容の充実を図るための予算措置が必要である。

ACTION

改善	事業内容の方向性		
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由：地域の学習活動に経験豊かな高齢者の人材を活用することができるシステムの構築と、自主的な運営を行う生涯学習サークルの育成が必要である。
	事業規模の方向性		
	A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由：専門的な指導者を養成することを目的とした講座を企画することができる予算措置が必要である。

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	8	48		国庫支出金		
	9	9		府支出金		
	11	27		起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		84
事業費合計		84	合計			84

●平成22年度予算

総合計画（後期基本計画）の施策方針		
平成22年度事業の概要	（何を対象に、何をするか）	
平成22年度事業の効果目標	（平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
				国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		
事業費合計			合計			

平成２２年度　事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調書

整理番号
社会　10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	11	01
細事業名	芸術文化事業					

担当部局
教育委員会事務局
担当課等
社会教育課

■ 事務事業評価

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	④　社会教育・スポーツの充実
	施策方針	3　生涯学習推進体制の整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	文化活動を通じた地域の振興とまちづくり。 住民の教養の向上、生活文化の振興。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	事業実施にあたり文化協会各団体の自主運営化の促進（行政依存的体質の改善）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	従来旧6町に存在した文化協会（文化団体協議会）を解消し、平成21年7月1日に京丹後市文化協会を発足させた。 また平成22年3月には、京都府丹後文化会館及び峰山地域公民館を会場に市総合文化祭（ステージ、展示）を実施した。 市民を対象とした事業の実施（公共ホール音楽活性化事業、小町ろまん短歌大会、府丹後文化会館への補助）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	文化協会において活動目的と補助金の使途についての共通理解ができた。

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	市文化協会の設立と各種文化芸術事業の実施	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	事業の効率化を目指しての市文協設立のため、第一段階として規約と予算を共有することを主としたため（補助金削減を目的とした市文化協会の設立でなかったため）。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
B	A　現状維持	理由	個人の楽しみの域をでない公共性・公益性の低い活動費用についての自己負担化
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
A	A　事業拡大	理由	文化活動を通じた地域の振興とまちづくりのため
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	195		国庫支出金		
	12	77		府支出金		
	13	942		起債		
	14	253		分担金・負担金		
	19	31,542		その他	公共ホール音楽活性化事業負担金	310
				その他	公演入場料	270
				一般財源		32,429
事業費合計		33,009		合計		33,009

●平成22年度予算

総合計画（後期基本計画）の施策方針		
平成22年度事業の概要	（何を対象に、何をするか）	
平成22年度事業の効果目標	（平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
				国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				その他		
				一般財源		
事業費合計				合計		

平成２２年度　事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調書

整理番号
社会　11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	12	01
細事業名	人権教育事業					

担当部局
教育委員会事務局
担当課等
社会教育課

■ 事務事業評価

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅴ　パートナーシップ都市
	計画項目　（施策）	③　人権の尊重
	施策方針	1　人権学習の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	様々な人権課題についての正しい理解と認識を深める。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	人権研修・学習会への出席者数　1,000人

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	国際理解、親子・地域の絆をテーマとした人権講演会をそれぞれ開催するとともに、映画を活用した人権学習会を各地域で実施し人権意識の高揚を図った。10回；延べ738名参加
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	多様な人権課題に関する理解が深まり、人権権意識の高揚が図れた。

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか		
	▲	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由：人権学習会への参加者の固定化への対策と人権啓発推進協議会の加盟団体等と連携した事業の実施などを進める必要がある。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由：京都府の補助事業を活用して事業を実施する。

ACTION

改善	事業内容の方向性		
	B	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由：一般市民を対象とした人権啓発事業は、市民課が所管し、各種団体等の指導者や関係機関職員を対象とした人権学習を社会教育課で担当する。
	事業規模の方向性		
	B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由：幅広い人権課題をテーマとした学習会を継続的に行う必要がある。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	9	19		国庫支出金		
	11	107		府支出金	人権問題啓発事業費補助金	296
	12	76		起債		
	13	244		分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		150
事業費合計		446		合計		446

●平成22年度予算

総合計画（後期基本計画）の施策方針		
平成22年度事業の概要	（何を対象に、何をするか）	
平成22年度事業の効果目標	（平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
				国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		
事業費合計				合計		

平成２２年度　事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調書

整理番号
社会　36

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	03	01
細事業名	地域スポーツ振興事業					

担当部局
教育委員会事務局
担当課等
社会教育課

■ 事務事業評価

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	④　社会教育・スポーツの充実
	施策方針	1　社会教育体制の確立

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	市民の健康づくりや、スポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の拡充、そして地域力の活性化を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	教室、大会への参加者を増やし、スポーツ実施率を50%に近づける。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツや体力づくり活動を行えるよう、地域の特性を生かしたスポーツ教室や大会などの事業を実施した。また、網野スポーツ祭、あみの八丁浜ロードレース大会への補助金を交付し、財政支援を行った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	体育指導委員と連携し、住民向けの講習会を146回開催した。（参加者約2，000人） ニュースポーツ交流大会には、58チームの参加があった。

●平成21年度決算

歳出			歳入		
	節	金額（千円）		項目	名称	金額（千円）
予算科目	8	286	財源内訳	国庫支出金		
	11	513		府支出金		
	12	1		起債		
	13	2,535		分担金・負担金		
	14	36		その他		
	19	1,337				
				一般財源		4,708
事業費合計		4,708	合計			4,708

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツや地域の特性を生かした教室や大会等を実施し、市民の体力・健康・生きがい作りの機会拡充に繋がった。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	各種教室や講習会、大会を開催するにあたり必要な経費である。

ACTION

改善

事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	地域のスポーツ活動を推進し、誰もが気軽にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、スポーツ教室や大会開催は有効であると思われる。

事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	地域の特性に応じた事業と、市全域で取り組む事業を引続き実施し、スポーツ実施率の向上を図る。

●平成22年度予算

総合計画（後期基本計画）の施策方針		
平成22年度事業の概要	（何を対象に、何をするか）	
平成22年度事業の効果目標	（平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

歳出			歳入		
	節	金額（千円）		項目	名称	金額（千円）
予算科目			財源内訳	国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		
事業費合計			合計			